9月9日（木）

12:30〜12:50　接続テスト（発表者・座長）

12:50〜13:05　参加者接続

13:05 開会あいさつ（佐藤勉）

座長（稲垣穣）

13:10

A-1 バクテリオファージＰ１の尾繊維ーシャペロン複合体の発現と精製

〇森有希奈、武田茂樹

群馬大学・大学院理工学府理工学専攻

13:30

A-2 Ｍｕファージ尾繊維シャペロンの構造解析の試み

〇武田茂樹[1]、前田彩実[1]、中澤友美[1]、榊原春菜[1]、山下栄樹[2]

[1]群馬大学・理工学部、[2]大阪大学・蛋白質研究所

13:50

A-3 T2 類縁ファージのレセプター結合ドメインによる宿主認識

〇金丸周司

東京工業大学・生命理工学院

座長（金丸周司）

14:10

A-4 NMR 分光法による完全な帰属が可能なバクテリオファージφX174 レセプター三糖の設計と合成

〇松澤朋生、篠田知奈美、増田裕一、稲垣穣

三重大学大学院 生物資源学研究科

14:30

A-5 枯草菌における胞子形成期特異的遺伝子再編成の分子メカニズム

〇安部公博[1,2]、高橋匠[3]、高松拓夫[4]、佐藤勉[2,3,4]

[1]筑波大学・生命環境系、[2]法政大学・マイクロナノテクセンター、[3]法政大学・生命科学部、[4]法政大学院 理工学研究科

14:50 休憩

座長（武田茂樹）

15:10

A-6 枯草菌 *sigK* 再編成に関与する新規溶原性ファージの機能解析

○大久保優[1]、伊藤光瑠[1]、河原光辰[1]、高橋由紀子[1]、岡本尚[2]、仁木宏典[2]、細谷茂生[3]、今村大輔[1]、佐藤勉[1,3]

[1]法政大学・生命科学部、[2]国立遺伝学研究所、[3]法政大学・マイクロナノテクセンター

15:30

A-7 枯草菌ファージの相同組換えによる溶原化と誘発

○菅野貴史[1]、茶谷朋哉[1]、鈴木祥太[2]、細谷茂生[2]、今村大輔[1]、佐藤勉[1, 2]

[1]法政大学・生命科学部、[2]法政大学マイクロ・ナノテクセンター

座長（大塚裕一）

15:50

A-8 ヒト腸内ファージ解析を基盤とした腸内共生病原菌の制御

○藤本 康介[1,2]、植松智[1,2]

[1]大阪市立大学大学院医学研究科ゲノム免疫学、[2]東京大学医科学研究所ヒトゲノム解析センターメタゲノム医学分野

16:10

A-9 *Bacillus cereus* を宿主とする jumbo ファージのゲノム解析と吸着機序

○松中南[1]、上土井達哉[1]、Nguyen Cong Thanh[1]、飯田挙史[1]、田代康介[1]、大森勇門[2]、大島敏久[2]、岩本武夫[3]、廣政恭明[1]、土居克実[1]

[1]九州大学・生資環、[2]大阪工業大学、[3]慈恵医科大学

16:30

A-10 *Enterobacter kobei* を宿主とするファージ EspM4VN の特性解析

Nguyen Cong Thanh[1]、松中南[1]、藤野泰寛[1]、田代康介[1]、岩本武夫[2]、廣政恭明[1]、○土居克実[1]

[1]九州大学・生物資源環境科学府、[2]慈恵医科大学・医学部

17:00 **総会・交流会**

9 月 10 日（木）

12:30〜12:50　接続テスト（発表者・座長）

12:50〜13:00　参加者接続

座長（柏木明子）

13:00

B-1 ピロリ菌ファージ研究の歴史と現状

〇松崎茂展

高知学園大学・健康科学部

13:30

B-2 妊娠後期の B 群連鎖球菌検査の精度を改善のための組み換えエンドライシンの利用

〇内山淳平[1,2]、松井秀仁[3]、小方雅也[2]、那須川忠弥[2]、内山伊代[1,2]、加藤伸一郎[4]、村上裕信[2]、東出正人[6]、花木秀明[3]

[1]岡山大学 学術研究院 医歯薬学域 病原細菌学分野、[2]麻布大学獣医学部、[3]北里大学大村智記念研究所、[4]高知大学遺伝子実験施設、[5]北里大学医学部、[6]株式会社 江東微生物研究所

座長（内山淳平）

13:50

B-3 近年のコレラ流行株は CTXΦ プロファージゲノムを複製できない

越智郁[1]、水野環[2]、三好伸一[2]、佐藤勉[1]、〇今村大輔[1]

[1]法政大学・生命科学部、[2]岡山大学・医歯薬学総合研究科

14:10

B-4 大腸菌 AbpA と AbpB による抗ファージ作用の解明

〇佐々木隆臣、大塚裕一

埼玉大学大学院・理工学研究科

14:30

B-5 T4 ファージの増殖におけるノンコーディング RNA の関与

〇大内英、大塚裕一

埼玉大学大学院・理工学研究科

14:50 **休憩**

座長（松崎茂展）

15:10

B-6 大腸菌 O157 株がもつ ECs3274-ECs3275 トキシン-アンチトキシン系の解析

〇吉岡瑞貴[1]、茂木優奈[2]、大塚裕一[1]
[1]埼玉大学大学院・理工学研究科、[2]東京大学大学院・新領域創成科学研究科

15:30

B-7 バクテリオファージΦWJ7 は醤油乳酸菌 WJ7 のリビトールタイコ酸をレセプターとする

〇脇中琢良[1]、松谷峰之介[2]、渡部潤[1,3]、茂木喜信[1]、徳岡昌文[4]、大西章博[4]
[1]ヤマサ醤油（株)、[2]東京農業大学・生物資源ゲノム解析センター、[3]福島大・農学群、
[4]東京農業大学・応用生物科学部

座長（今村大輔）

15:50

B-8 バクテリオファージ EscoHU1 を利用した食品中の *Escherichia coli* O157:H7 および *Salmonella* Typhimurium の制御

〇山木将悟、山﨑浩司、川合祐史
北海道大学大学院水産科学研究院

16:10

B-9 実験進化で見られた Qβ ファージの高温への素早い適応

Md. Tanvir Hossain[1]、横野冬馬[2]、〇柏木明子[1,2]
[1]岩手大学大学院・連合農学研究科、[2]弘前大学・農学生命科学部

16:30 **おわりに**

以降、自由討論